

興雲閣保存修理工事報告書

平成28年 3 月

松 江 市

序 文

興雲閣は、松江市が明治36年に松江市工芸品陳列所として建てた建物です。当初、明治天皇の行在所に使用する目的でつくられたため、装飾・彫刻を多く用いた華麗な仕上げとなっています。結果的には天皇の巡幸は実現しませんでした。明治40年に皇太子嘉仁親王の山陰道行啓の際の御旅館となり、迎賓館としての役割を果たしました。

その後、明治45年に正面の階段を奥に移動する大規模な改修が行われ、松江市の公的な歓迎所として、また、各種の展覧会場・会合に使用されました。昭和44年には松江市内にある数少ない明治建築の一つとして鳥根県指定有形文化財に指定され、昭和48年から「松江郷土館」として活用してきましたが、平成23年3月に閉館いたしました。

松江市では、平成20年度以降、外部委員会・アンケート調査・パブリックコメント等の意見をもとに今後の保存と活用について検討し、階段室を移設して現在の形態となった明治45年に復原するとともに、建物そのものの持つ歴史と魅力を生かした新たな活用のために必要な整備を行うことを決めました。そして、平成23年度に松江市の歴史的風致形成建造物に指定し、平成25年度から平成27年度にかけて保存修理工事を行いました。

検討の開始から8年をかけたこの事業の目的は、文化財を保存し、かつその活用を図ることです。厳密な調査や時代考証に基づいて往時の姿を甦らせるとともに、新たな魅力と価値を引き出し、良好な状態で次の世代に引き継いでいけるように、また、誰もが訪れ、使うことによりその歴史や価値を実感できるよう、必要最小限の耐震補強や利便性向上のための整備を行いました。

ご指導いただいた鳥根県文化財保護審議会・松江市文化財保護審議会委員、耐震性能判定委員の皆様をはじめ、設計監理に携わっていただいた京都伝統建築技術協会と施工業者の皆様、並びに鳥根県その他関係機関の皆様にご心から感謝を申し上げますとともに、興雲閣が将来にわたり市民の皆様にご愛され、多くの観光客の皆様にご親しんでいただけることを祈念いたします。

平成28年3月

松江市長 松 浦 正 敬

例 言

1. 報告書作成の意義

(1) 本書の内容

本書は社会資本整備総合交付金及び島根県文化財保存事業費補助金を受けて実施した興雲閣保存修理工事の報告書である。事業の概要、建物の概要、各部の調査、修理方法の検討及び施工内容などを掲載した。

(2) 作成の目的

明治36年（1903）の創建以来初めて行った根本修理の記録をまとめることにより、歴史的な建造物を保存修理することの意義を広く一般に周知して今後の保存・活用に資するとともに、将来行われる修理に必要な情報を後世に伝える。

2. 担 当

(1) 作成の担当

1) 編 集

(一財) 京都伝統建築技術協会

監修：持田武夫

編集：村橋聖一

2) 本文執筆

第1章：松江市

第2章 第1節～第3節：松江市

第2章 第4節：(一財) 京都伝統建築技術協会・江角アトリエ

第3章：(一財) 京都伝統建築技術協会・江角アトリエ

第4章：松江市

第5章：(有) 安芸構造計画事務所

第6章：(一財) 京都伝統建築技術協会・江角アトリエ

3) 写真撮影

修理前・竣工：西大寺フォト 杉本和樹

古図面（史料53～55・63）：井上松影堂 井上治夫

調査・施工：江角アトリエ 江角洋斗

4) 図面作成

(一財) 京都伝統建築技術協会

5) 史料調査・翻刻

松江市歴史まちづくり部まちづくり文化財課史料編纂室

松江歴史館

(2) 助言・協力（敬称略）

1) 文化財保護

鳥根県文化財保護審議会・松江市文化財保護審議会委員（建造物） 和田嘉宥

鳥根県文化財保護審議会委員（建造物） 清水真一

松江市文化財保護審議会委員（建造物） 足立正智

2) 耐震診断・耐震補強

東京大学名誉教授 坂本功

東京大学生産技術研究所教授 腰原幹雄

東京大学大学院准教授 藤田香織

3) その他資料提供・助言

和泉興政

松江市身障者福祉協会 会長 福井幸夫

（有）今岡ガクブチ店 代表取締役 今岡弘延

元松江郷土館館長 安部登

3. 構成

(1) 構成

本書は本文・図版（写真、図面）からなり、必要な都度本文中に図版写真番号を示した。

(2) 室名

基本的に工事の設計図・竣工図のものを使用した。

(3) 図面

竣工平面図を除き、活用工事に関する内容は記載していない。

目 次

第1章 概 説	
第1節 文化財等の指定	1
第2節 建造物の概要	1
第2章 工事の概要	
第1節 事業の概要	6
第2節 工事関係者	9
第3節 工事経費	12
第4節 工事实施仕様	14
第3章 調査事項	
第1節 修理前の破損状況	31
第2節 平面の変遷	35
第3節 形式技法の調査	38
第4節 発見物、資料	51
第4章 現状変更	54
第5章 耐震診断及び構造補強	
第1節 構造概要	56
第2節 構造用外力の算定	58
第3節 建物の構成材料及び材料強度	59
第4節 架構のモデル化	60
第5節 修理前建物の耐震性能確認	61
第6節 補強後の耐震性能確認	63
第7節 現場調査結果に伴う追加検討	66
第6章 活用工事の実施内容	69
附 章 調査資料	
第1節 鳥根県指定文化財興雲閣 屋根瓦分析	70
第2節 興雲閣（鳥根県指定文化財）壁紙 素材分析	74
第3節 鳥根県指定文化財『興雲閣』貴顕室他 改修（明治40年改修時）に伴う資料調査	78
第4節 鳥根県指定有形文化財興雲閣 ペンキ調査結果	85

写 真

竣工
修理前
古写真
古図面

図 面

竣工
修理前